

ふるさと納税の岩手県北上市の返礼品としてUTOカシミヤが、11年目の24年年末で、とうとう20億円を突破しました。

2014年の11月から始まったふるさと納税。UTOカシミヤの返礼品を支持して頂き、多くの方から寄付を頂きました。

心から感謝申し上げます。これからもうすぐよろしくお願い致します。

カナダのトロントから、ニューヨークから、ソウルから、香港から、台湾からわざわざ予約して、ビルの6階に来店される(三ツ星?)不思議なカシミヤのショップ。

全国でオーダー会をやっています。うちの街でやって!と気軽に連絡ください。

【岩手県青年卓越技能者表彰】

11月19日
当社製造責任者の館下愛美主任が、昨年の北上市の表彰に続き、岩手県から表彰されました。



【海外初のオーダー会】11月19日



パリの二等地、ヴァンドーム広場とチュイルリー公園にはさまれたモンタボー通りにあるこだわりの紳士服テーラー、メゾン・ガブリエル・パリ。UTOと共催でオーダー会を開催。パリのセレブの方々に、珍しいカシミヤニットのオーダーと色の多さと品質を喜んでオーダーをいただきました。

【韓国で開始】12月

韓国ソウルでチャネルをメインに展開する、レディースブティックのポセティックとのコラボ展開開始しました。

【名古屋でオーダー会開催】11月22〜24
UTO主催の特別オーダー会を名古屋大須のアトリエグラフィアで開催。

【朝日新聞】12月14日・岩手

高級カシミヤニット 世界が着る北上製品
北上市の工場で作られている高級カシミヤニットが世界各国で販路を広げている。

【月間・ウェンデー】12月15日 寄稿

(この人に注目) 岩手から世界へ
自分のために着る世界一のカシミヤ
世界一の天使のストールの開発秘話が掲載

【ハーパーズ バザー】12月26日

カシミヤニットのお手入れ方法などをインタビューで解説した記事が発信されました

【衣装提供協力】1月22日

テレビ朝日「相棒 season23」水谷豊さん着用、カシミヤ100%ケーブル編みシヨールカラーカーディガンを貸出し。

【IBC岩手放送】10月

「ウドちゃんのみんなやつちやえSDGs」
岩手工場にウドちゃん来訪。
カシミヤの製造の様子を取材・放映

【大阪でオーダー会開催】1月17〜19日

UTO主催の特別オーダー会を大阪南船場B.P.ガーデンシティ南船場で開催。



写真・吉田

【青山・表参道境界】 UTOはこんな街から発信しています
カシミヤおやじの

青山・表参道境界の大名屋敷

広大な武家屋敷の隙間で悲喜こもごもの庶民たち

江戸時代末期の江戸の土地利用割合は、大名や旗本などの武家地が約70%、寺社地が15%で残りの15%に町人が住んでいたそうです。江戸末期の絵地図を眺めていると当社のある青山表参道の辺りはまさに大名と武家地がほとんどです。現代の一般市民として頭では納得しますが、庶民はどこに住んでいたんだろうと判断としない気分です。

お寺は昔からほぼ同じ処にあるので昔の位置と今を比べる目安になります。

青山界隈で最も賑わう表参道。その東の奥にある善光寺は気づかない人が多いと思いますが、江戸の初めころからここにありました。また骨董通りと六本木通りの角にある長谷寺も格好の目安です。もっとも両寺は今よりずっと大きな敷地だったようです。

ざっくりですがその善光寺を四辺形の角にして、表参道通りのケヤキ並木を下って原宿のキヤットストリートの手前まで。もう一边は青山通りを赤坂方面に向かって外苑西通り辺りまで。渋谷区神宮前3丁目と4丁目の広大な敷地は、安芸広島藩浅野家42万6千石の下屋敷でその内の現在都立団地の辺りは分家の浅野家の上屋敷です。その北側に遠江浜松藩6万石井上河内守の下屋敷で、井上は幕府の老中も務めたそう

です。ここに今は何千人もの人が暮らして仕事をしていますが、この広大な土地がたったこの3家で占めているのが驚きです。



骨董通りの西側は青山学院ですが、ここは約4万坪あり伊予西条藩松平3万石の上屋敷です。また青山通りを挟んで向かい側に国連大学などのある広大な地は40年ぐらいい前は都バスの中車庫でした。ここも含めて骨董通りから宮益坂の幅で明治通り辺りまでの約5万坪が京都山城淀藩の稲葉家10万2千石の下屋敷。敷地の中に池もあったようです。

当社のある南青山5丁目から7丁目辺りまでは大阪河内丹南藩1万石高木家の下屋敷で4万5千坪もあり、その中には根津美術館の敷地も含み、今でも高木町と呼ばれています。

大山道と言われた青山通りですが、外苑辺りから骨董通り付近まで百人町と言われる武家の屋敷がずらりと並んで、庶民の家は見つけることが出来ません。隠田村の畑の中に小さな四角の印があるのが百姓家と思われまます。

また下町の日本橋辺りに名前のない区画がある処がいわゆる町民と言われる一般人が住んでいたんでしょう。昭和に生まれてよかった!

メンズ：カシミヤ100%
パーカー リフタイプ
1212-2212 ¥154,000 (税込)



ラグジュアリーなニットパーカー。フードを二重仕様にし首元まで覆える高さに調整。程よいボリューム感でジャケットインで着ても様になります。ご自宅での着用からお出かけまで、ずっと着ていたくなるような着心地の良さと極上の贅沢感をお楽しみください。

レディース：カシミヤ100%
ラグランスリーブセーター
1112-1030 ¥70,400 (税込)



ラグラン仕様で、身頃と袖部分の立体的なつなぎ目は、本来裏側にくる側をあえて表目に施すことで大人な遊び心のあるデザインに。ネック部分は、女性らしい開きで華奢感を強調。細部まで計算された、さりげないお洒落感をお楽しみいただけるアイテムです。

レディース：カシミヤ100%
7ゲージ ボトルネック ベスト
1117-1341 ¥81,400 (税込)



柔らかなカシミヤの風合いはそのままだに、通常よりも詰めて編むことでより弾力と温かさを感じていただけるよう仕上げました。首周りはより長くほっそりと魅せるボトルネック。サイドに前後差のあるスリットを入れることでレイヤードをアレンジして楽しめます。

岩手から世界へ

自分のために着る世界一のカシミヤ

海外旅行が夢だった1970年代、アマチュア音楽家たちに「海外で夢の演奏会やコンクールに出場する機会を作る」という変わった旅行屋でした。好況だったファッション業界にもアプローチし、ヨーロッパのファッション視察のツアーを作り案内して何度も一緒に過ごす毎に誘われてとうとうニット屋に転身しました。

思いがありました。世界一の原料探しでは、カシミヤの専門家達から評される英国1、イタリア2、中国1、日本2社の糸を取り寄せて職人さんに編んでもらいテストした結果が日本の東洋紡糸工業でした。残念ながら一番高価でした。

この糸で最初に開発したのが「天使のストール」です。首に巻いただけで幸せを感じる軽くて柔らかく暖かいカシミヤ以外では絶対に味わえないストールが出来、「天使のストール」と名付けました。このストールが切掛けで事業が上向き、マフラーも作りました。



ニットは世界中大量生産が常識の中、世界唯一と言える「ニットのオーダー」にすることにしました。世界で唯一だつたら世界に対抗できるからです。

それは旅行屋の頃パリへお客様を案内している時、フランスの事情を教えて頂いたデザイナーの島田順子さんの言葉が頭に残っていたからです。当時パリには日本人は殆どいない頃です。島田さんに生意気にも、「どうして遠いパリで頑張ってるんですか?」の問いに、「パリはね、ファッションでは世界一なのよ。世界一には世界中からお客様が来るのよ。日本一なら日本中からくるでしょうけどね」というフレーズでした。

「カシミヤで世界一とは?」自問自答の日々でした。半年で移り変わる流行ではなくカシミアニットの基本はベーシック。世界一のカシミア原料で日本人の物づくりなら世界には負けないとの

これを引きつけて工場さんをお願いに回りました。しかしすべての工場から断られ、これを実現するには自分で工場を創るしか無く無謀にも山梨に工場を創りました。その後震災後の岩手県北上に移転し、これを機にネット販売に力を入れました。「触らないカシミアがネットで売れるはずがない」という周りの予想に反しネット販売は好評です。また、ふるさと納税での北上市の返礼品のカシミアを全国に知って頂き毎年2億円前後の寄付を頂いています。

月間ウインディ寄稿文から

嫁いでいった蝶たち



大げさだと笑われそうですが、行き遅れた娘に嫁に出す親の気持ちはこれに近いものかもしれない。この蝶の標本を手放すのは子どもでもない私にとって安堵と寂しさの混じった複雑な思いです。この通信の前号と当社のホームページに「差し上げます!」とドイツ箱31ケースの標本の写真を出しました。条件は「大切にしてくれる人」、「もういらなくなってしまった人」、もう一つはバラにはしませんで一括でもらうてくださる方でした。こんなわがままな条件でしたが、こちらは真剣で「娘の嫁ぎ先」をさがす心境でした。最悪は一件も希望者が無く、処分が頭をよぎります。これだけは何んとしても避けたいので希望者が出るまでいろんな方法を試みるつもりでした。

ありがたいことに博物館をはじめ方々からいろんな推しをいただきました。標本の内容は写真を見て頂ければ分かるとおもいますが、親の最良目ではそこそこ、素人目ですが「中の上」か「上の下」です。学術的なコレクションでもないので博物館はおこがましく敷居が高く、そんなところで娘が片身の狭い思いをするのではと心配になります。

優れているポイントは日本産の蝶がそこそこ揃っているのと、色や模様が綺麗なマレーシア、フィリピンなど東南アジアをはじめアフリカなどの蝶が多くあり素人目には珍しいのでアピールできると思っていました。難題は当社まで貰いに来てもらうことでした。遠方からは送って欲しいのは重々理解していますがなにせ素人ですから少しでもぶついたりすると台無しになってしまう超繊細な標本なので梱包の仕方が分かりません。何件かオファーを頂いたのですが、結局遠方のため受け取りには行けないということでした。

最高の嫁ぎ先が決まりました。ある幼稚園からお話をいただきこへお譲することにしました。子供達が興味津々で見ってくれる姿が目には浮かびます。最高の所が見つかったと大喜びです。この標本を機に昆虫や蝶などを怖がらずに、自然に親しむ子供たちが育ってくれるたら最高だと思えます。

想い出のホテルを旅する(八十)

元 旅行屋のお勧め 小坂町・秋田

十和田ホテル

親の仕事の事情で中学から高校までアメリカの公立学校で過ごした甥っ子は日本に戻り大学に入ったけど日本に馴染めず半年間でアメリカへ帰ることにしました。日本の良さを知ってもらいたくて甥っ子を誘って二人で東北一周の旅をした時訪れて以来の十和田湖です。

八戸からJRバスで。途中緑滴る奥入瀬の渓流を見ながら十和田湖へ。三十年前に甥っ子と来た懐かしい道です。十和田湖の休屋に着いた時はあいにくの天気で風が強く、波しぶきが湖岸の歩道にまで飛び、あの有名な裸の乙女像が風に吹かれて寒そうでした。遊覧船も運休でホテルからの迎いのバスの乗客は私一人でした。

戦前に建てられ、その建物ですつと営業している「クラシックホテル」と言われるホテルが好きで機会があるごとに訪れました。始めて20代の時に泊まった奈良ホテルを皮切りに、九州の雲仙観光、蒲郡、上高地帝国、富士屋、金谷、横浜ニューグランド等々。それぞれのホテルに歴史と味わいがあり、昔日に誘ってくれました。この通信でも多くのクラシックホテルを紹介させて頂きました。

30年前は日程の都合で泊れなかったこの十和田ホテルは本当に楽しみにしていました。

十和田ホテルは一九三九年に創業した東北を代表するクラシックホテルです。建物は当時の秋田の木工の匠たちがその技を尽くして作り上げたもので落ち着いた雰囲気と質実剛健な姿勢に品格を感じます。特に登録文化財に指定されている木造本館は、一度は泊まってみたくて憧れていたクラシックホテルとして私が思い描いていた以上の迫力の木造建築物です。宮大工が誇りと魂を込めたと言われる見事な木組みの玄関は「凄い!」という感嘆の言葉以外には表現が出来ません。

季節外れの誰もいないホテルのライブラリーはインテリジェンスを備えた空間で、何か静かな時間が漂っていて、時空を超越した魅力がありました。

心地良いソファアに座って大きな窓から外を眺めていると、風が去った外輪山の森はまるで時間が止まったように感じます。稜線は霧に包まれ、目の前に広がる森は豊かで、風が吹くたびに木々が揺れ、枝がたわむ様に時間を忘れました。



チェックアウトして「近くですから」と、送ってもらった十和田プリンスホテルは、三十年前に訪れた気持ちの良い広い芝生が健在でした。この十和田の旅は、自然と歴史、そして甥っ子との想い出が交錯する、特別な旅でした。